

国指定史跡

比企城館跡群 菅谷館跡

菅谷館跡は、鎌倉時代の武蔵武士畠山重忠の居館と伝えられています。現在残っているのは戦国時代の城跡です。山内上杉氏と扇谷上杉氏が争った長享年中の大乱(1487～1505年)の中で再整備されたと考えられています。これまでに5回の発掘調査が行われており、館跡からは、かわらけ、白磁の皿、天目茶碗、すり鉢、火鉢等が出土しています。

菅谷館跡の構造は、本郭を取り囲むように二ノ郭、三ノ郭、西ノ郭、南郭が配置されています。各郭は深い空堀と高い土塁で囲まれ、簡単に攻め込めない造りになっています。

面積は約13万㎡(東京ドーム約3個分)あり、昭和48年に国の史跡に指定されました。さらに、平成20年3月には「比企城館跡群 菅谷館跡」と名称変更されました。

また、菅谷館跡には四季折々に美しい花が咲きます。春には桜やスミレ、キンラン・ギンラン、夏にはヤマユリ、秋から冬には寒桜や小さな草花を楽しむことができます。



開館時間

午前9時～午後4時30分まで(入館は午後4時まで)
※7・8月は午後5時まで開館(入館は午後4時30分まで)

休館日

月曜日
※祝日、5/1、5/2、11/14 県民の日が月曜日の場合は開館
年末年始(12/29～1/3)
他、展示替えなどのため、臨時休館することがあります。

観覧料

一般100円 高校・大学生50円 中学生以下 無料
※団体20人以上：一般60円 高校・大学生30円
※障害者手帳をお持ちの方(付添1名まで)は無料

交通案内



電車をご利用の場合

東武東上線「武蔵嵐山駅」より、徒歩約15分



自動車をご利用の場合

関越自動車道 東松山 I.C. より、小川方面へ約10分
関越自動車道 嵐山小川 I.C. より、東松山方面へ約15分

埼玉県立嵐山史跡の博物館

〒355-0221 埼玉県比企郡嵐山町菅谷757
TEL 0493-62-5896 FAX 0493-61-1060
Email s625896@pref.saitama.lg.jp
WEB <https://ranzan-shiseki.spec.ed.jp/>



「コバトン」「さいたまっち」

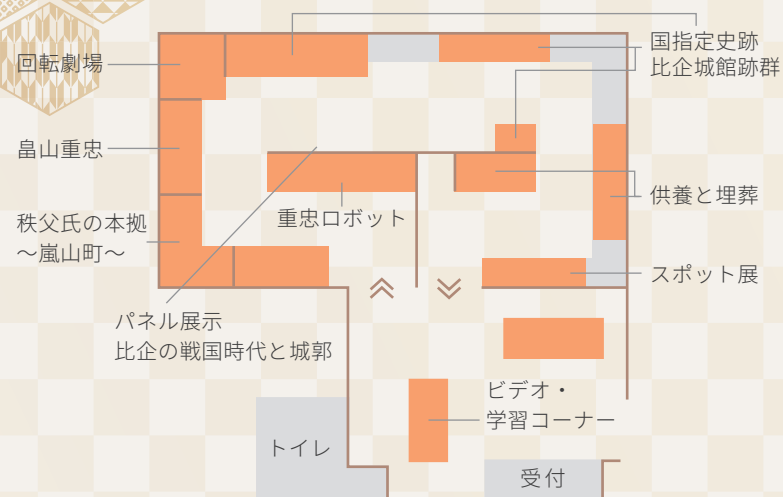
中世の城館と武士の博物館

埼玉県立 嵐山史跡の博物館

Saitama Prefectural Ranzan Historical Museum

見学のしおり

埼玉県の中世（平安時代末期～戦国時代）について 学べる博物館です。



国指定史跡 比企城館跡群

（菅谷館跡・杉山城跡・小倉城跡・松山城跡）

比企地域には現在 69 か所の城館跡が確認されており、その多くが15世紀から16世紀にかけて築城されました。
その代表的な 4 城館のうち、菅谷館跡は昭和 48 年（1973）に、杉山城跡・小倉城跡・松山城跡は平成20年（2008）に、国指定史跡になりました。



当館では、年 1 回展示内容が入れ替わる
「企画展」のほか、「スポット展示」、「ロビー展示」なども
行っています。ぜひご覧ください。



（1453） いたいしとうば
享徳二年銘板石塔婆

供養と埋葬

中世の人々は死者の追
ぜんくよう 極楽往生
善供養や自らの極楽往
じょう いたび
生を願って、板碑や五
りんとう
輪塔などの供養塔を立
てました。

ビデオ・学習 コーナー

中世の城館跡や武蔵
武士などに関する
映像や図書を閲覧で
きます。



菅谷館の主 畠山重忠

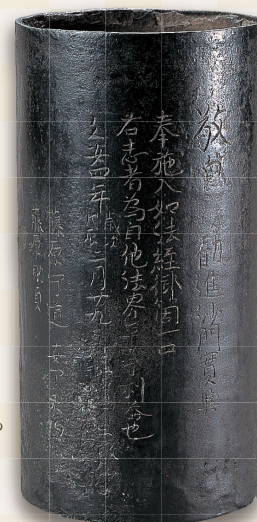
畠山重忠は、長寛 2 年（1164）に畠山重能の次男とし
て畠山（深谷市）で生まれたと伝えられ、文治 3 年
（1187）11 月までには菅谷館に移り住んだとされます。
重忠は、宇治川の合戦、一の谷合戦、奥州攻めなど
で功績をあげた有力な鎌倉御家人でした。しかし、
元久 2 年（1205）、北条氏の策略によって、
二俣川（神奈川県横浜市旭区）で
42 歳の生涯を終え
ました。



重忠ロボット

秩父氏の本拠・嵐山町

嵐山町内には平沢寺跡、
大蔵館跡など秩父氏ゆか
りの遺跡が数多く残って
います。これは、現在の
嵐山町域が平安時代末期
から鎌倉時代初頭につ
いて、秩父氏の重要な本拠
地であったことを物語っ
ています。



きゅうあん
久安 4 年（1148）の銘文のある
平沢寺跡出土銅鐘筒
【埼玉県指定文化財】